

# 令和 2年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 社会福祉課  
担当名 総務・社会福祉担当

内線 3221

単位：千円

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業			
B 1	生活福祉資金貸付促進費		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	生活福祉資金貸付促進費			
事業期間	昭和30年度～	根拠法令	生活福祉資金貸付制度要綱			宣言項目 分野施策	020415 生活の安心支援			
1	事業概要 埼玉県社会福祉協議会では、低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯を対象に低利な貸付けと相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を実施している。 制度の円滑な運営を図るため、この事業に要する費用を助成する。  (1) 生活福祉資金貸付促進費 生活福祉資金貸付原資の増額 20,347,092千円		5 事業説明 (1) 事業内容  ア 県社会福祉協議会事務費 生活福祉資金の貸付けに要する人件費や事務費の助成 30,865千円 イ 民生委員実費弁償費 生活福祉資金に関する相談支援に要する費用の助成 25,605千円 ウ 債権管理強化推進事業費 生活福祉資金の債権管理に要する費用の助成 1,110千円 エ 過年度補助金に係る国庫返還金 過年度に補助した貸付原資に係る国庫補助返還金 2,873千円 オ 生活福祉資金業務システム改修費 貸付メニューの創設等に伴うシステム改修費の助成 3,500千円 カ 生活福祉資金貸付原資補助 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金の特例貸付を継続していくために必要な費用の補助 23,315,140千円 20,347,092千円(増額)  (2) 事業計画 ・埼玉県社会福祉協議会が生活福祉資金の適正な貸付け及び債権管理を行うための費用を助成する。 ・過年度の生活福祉資金貸付事業費補助金(貸付原資分)に係る国庫補助金相当分について、その一部を国庫へ返還する。  (3) 事業効果 生活福祉資金の貸付けにより、低所得世帯等の方々が生きて安定した生活を営むことが可能となる。 ○ 貸付状況 平成29年度 貸付件数 396件 貸付額 340,390,070円 平成30年度 貸付件数 424件 貸付額 284,832,503円 ○ 償還状況 平成29年度 貸付債権数 8,264件 債権回収額 206,784,864円 平成30年度 貸付債権数 8,153件 債権回収額 179,501,893円  (4) 補正の理由 生活福祉資金貸付原資補助 20,347,092千円の増 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方々を対象とした緊急小口資金等の特例貸付に係る原資等の補助について、受付期間が12月末までに延長されたことから、必要な経費を増額する。							
2	事業主体及び負担区分 (1) (国10/10)									
3	地方財政措置の状況 地方交付税単位費用算定あり (細目) 社会福祉事業費 (細節) 社会福祉事業指導啓発費 (経費区分) 負担金、補助金及び交付金									
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
補正要求額・審査額		国庫支出金	諸収入				一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額
決	20,347,092	20,347,092					0	43,726,185	63,953	23,379,093
要	20,347,092	20,347,092					0	43,726,185	うち一財	うち一財
現	23,379,093	23,347,430	2,873				28,790		28,790	28,790

**【審査の考え方】**

生活福祉資金の特例貸付について、受付期間の延長に伴う貸付原資等の補助の増額の必要性を認め、要求額を措置した。